



中学生海外派遣 帰国報告2013



今年で21回目となる中学生海外派遣事業。姉妹都市であるオーストラリアのモートンベイ市との友好親善と相互理解を深めるとともに、広い視野と国際感覚を持った次代を担う人材を育成することを目的とし、毎年夏休みに実施しています。今年も8月15日から25日までの11日間にわたり、中学生6人と引率者（高千帆中学校 松岡秀樹教頭）が派遣されました。ホームステイをしながら現地のハイスクールに通い、各校を代表する交流大使としての役割を担ってきました。言語も生活習慣も異なる地で、どのようなことを経験し、学んできたのでしょうか。

【担当課】協働推進課 ☎ 82-1134



平成 25 年度 「中学生海外派遣事業のパネル展」

《とき》1月11日(土)～13日(祝)

《ところ》おのだサンパーク

中学生6人が姉妹都市モートンベイ市での体験、現地の生徒やホストファミリーとの交流の様子をパネル展示します。ぜひお越しください。



いのうえ えりか
井上 江梨花
(小野田中学校3年)



私のバディの Serina は髪を黒と赤に染めていて、顔と耳に合わせて7つもピアスの穴が開いていました。初め見たときとてもびっくりしたのですが、だんだんとこれが Serina らしさなんだと思うようになりました。お別れの2日前に Serina が大切にしていた香水をくれました。「何で私に大切な香水をくれるの?」と聞くと「あなたは私の姉妹だからにきまつてるじゃない!」とハグしてくれ、とても嬉しかったです。私にとって、たくさんの愛情をくれ、優しく接してくれるもう一つの家族を持つことができました。ホームステイした時間はとても短かったけど、私の人生ですごく大切な時間となりました。



おきもと まひろ
沖本 万尋
(厚狭中学校3年)



オーストラリア人の一番ステキだと思ったところは、フレンドリーで親切なところです。色んな人たちが初対面にも関わらず、積極的に話しかけてくれました。このように、初対面の人に話しかけることは、日本人には難しいなと感じました。また、「多民族・多文化国家」であることも実感しました。ハイスクールの中でも、肌や髪の色、目の色などもみんな違っていました。みんなとても仲が良く楽しそうでした。このような文化だからこそ『一人ひとりの個性が大切にされ、みんな仲良く生活をしていけるのではないかな』と思いました。この経験をステップにし、これからの人生に活かしていきたいと思っています。